

1 . 調 査 報 告 概 要 表

〔認知症対応型共同生活介護用〕

作成日 平成 1 9 年 1 2 月 1 8 日

【評価実施概要】

事業所番号	2 7 7 0 9 0 0 8 5 6
法人名	医療法人 杏仁会
事業所名	グループホームブルーベリー
所在地	高槻市東和町 5 7 番 1 号 (電 話) 0 7 2 - 6 7 1 - 0 4 4 1

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺 1 丁目 1 番 5 4 号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 1 9 年 1 1 月 2 8 日

【情報提供票より】(平成 1 9 年 1 1 月 2 1 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 1 0 年 1 0 月 1 5 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 6 人, 非常勤 3 人, 常勤換算	6 . 7 人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り
	階建ての 階 ~ 階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	3 0 , 0 0 0 円		その他の経費 (月額)	円
敷金	有 (円) ②			
保証金の有無 (入居一時金含む)	① (2 0 0 , 0 0 0 円) 無		有りの場合 償却の有無	③ / 無
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1 , 5 7 5 円			

(4) 利用者の概要 (平成 1 9 年 1 1 月 2 1 日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護 1	5 名	要介護 2	3 名		
要介護 3	1 名	要介護 4	0 名		
要介護 5	0 名	要支援 2	0 名		
年齢	平均 8 8 歳	最低	8 1 歳	最高	9 8 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医) 仙養会北摂総合病院、医) 杏仁会おかだクリニック、おかだデンタルクリニック
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域医療のリーダー的存在として活躍する法人代表者が、地域の求めに応じて開設した認知症対応型グループホームです。グループホームの他に、介護支援事業所や老人保健施設等、多機能の在宅支援事業を運営しています。医療と福祉が連結したサービス施設を提供するグループホームとして効果的な支援を行っています。地域自治会や学校、ボランティアなど地域との連携が強く、利用者が外部の人々と接する機会の多いホームです。平屋建てで庭園が広く、外へ出ても危険の少ない落ち着いた生活環境を備えています。最近では運営推進会議での家族意見を反映しより一層外出支援に力を入れています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況 (関連科目：外部 4) 前回評価での改善課題は 6 項目ありました。管理者は要改善項目等を口頭で説明していますが、職員間では改善のための検討を行ったという記録は残していません。この 2 年間で改善した項目は 5 項目です。「ホーム内の見やすいところに理念を掲示する」という課題が残っています。 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目：外部 4) 外部評価結果については管理者が職員に口頭で説明していますが、その内容を記録に残していません。自己評価票の作成については管理者が職員の意見を聞きまとめています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目：外部 4, 5, 6) 運営推進会議は平成 1 8 年に初回開催し、1 9 年 9 月に 2 回目を開催しています。主な討議内容は①前回家族から出された「外出の機会を増やしてほしい」という要望について、ホーム側から外出支援を増やしたという具体的な内容報告②市担当者から一層地域交流が深まるように努力をしてほしい③地域の生き生きサロンにホーム利用者の作品を展示されたらどうかという民生委員からの誘い④ホーム側から、地域サロンに利用者の作品をぜひ出させてほしいという依頼⑤利用者からの新たな要望として「将棋の相手が欲しい」などです。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目：外部 7, 8) ホーム玄関に意見箱を設置して、寄せられた意見を反映するように努めています。年に数回行われる家族同士の集まりの場を借りて、運営に関する家族等の意見を聴取し、反映するよう努めています。運営推進会議で出された利用者や家族の意見を尊重し反映しています。毎月 1 回程度、家族へ口頭で利用者の暮らしぶりや健康状態などを報告していますが、利用者全員に書面で送付する等の取り組みはしていません。職員の異動については「ブルーベリー便り」で報告しています。利用者ほぼ全員の小口金銭管理を行っています。が、個別金銭出納帳には家族の了承サインは確認できませんでした。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目：外部 3) 開設初期から地域との連携を重視した取り組みをしています。地域の盆踊りへ参加をする、同法人祭りには地域から 3 0 0 人以上の参加がある、小学校からの訪問、中学校からの体験学習訪問、地元からのホーム見学会、ボランティア行事など毎月のように地域の人々とふれあう機会があり、そのことを利用者は楽しみにされています。

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外 部	自 己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続ける ことを支えていくサービスとして、事 業所独自の理念をつくりあげている	「輝いて共に生きる」という理念の下に、「地 域の住民との交流を深め、住みよい環境つく りを行なっていく」という方針を掲げ、日常 的な支援に活かすように取り組んでいます。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念 の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は総合玄関に掲示して共有しています。 管理者は職員に理念の説明を行い日常の支援 の中で理念を実践するように努めています。 ホーム玄関にも理念を掲示することが望まれ ます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員 として、自治会、老人会、行事等、地 域活動に参加し、地元の人々と交流す ることに務めている	開設初期から地域との連携を重視した取り組 みをしています。地域の盆踊りに参加する、 同法人祭りには地域から300人以上の参加 がある、小学校からの訪問、中学校からの体 験学習訪問、地元からのホーム見学会、ボラ ンティア行事など毎月のように地域の人々と ふれあう機会があり、そのことを利用者は楽 しみにされています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は前回の外部評価結果を口頭で説明していますが、記録を残しておらず内容の確認ができません。外部評価結果そのものを職員全員に回覧するなどの共有化をしていません。自己評価票の作成については職員の意見を聞き、管理者が作成しています。	○	管理者は職員が外部評価の意義を理解し、自らの課題として改善等に取り組めるように、外部評価結果を提示し説明をすること、要改善の課題について共有することが求められます。改善委員会を設けるなどして職員間で検討されると良いのではないのでしょうか。また、報告内容や討議経過については記録を残し、職員間で共有することが求められます。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の規定は厚生労働省の基準を、ほぼそのまま活用しています。運営推進会議は平成18年度に1回、19年度に1回開催しています。会議では利用者・家族を初め参加者がより積極的な意見が出され、意見をもとにサービスの向上に努めています。	○	運営推進会議は2ヶ月に1回、年6回程度の開催が求められます。また、今後は自己評価、外部評価の結果についても出席者に説明し、意見や助言を得るなどの取り組みが求められます。運営推進会議の規定はホーム独自のものとして、タイトルを入れ、構成メンバーを具体的に記載し完成することが望まれます。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者には運営推進会議への参加を要請し、会議での助言を得ています。市からの研修開催通知があれば積極的に参加しています。さらにホームから市へ働きかけ、同市内にあるグループホームの交流会等が開催できるように、援助を要請するなどの取り組みを期待します。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月 1 回程度は口頭で利用者の暮らしぶりや健康状態などを報告していますが、利用者全員に書面で送付する等の取り組みは行っていません。職員の異動については「ブルーベリー便り」で報告しています。利用者ほぼ全員の小口金銭管理を行っていますが、個別金銭出納帳には家族の了承サインは確認できませんでした。	○	個別金銭出納帳に家族の了承サインを得ることが求められます。「ブルーベリー便り」の定期発行を行い、書面で利用者の様子を家族へ報告することが望まれます。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム玄関に意見箱を設置して、寄せられた意見を反映するように努めています。年に数回行われる家族同士の集まりの場を借りて、運営に関する家族等の意見を聴取し、反映するように努めています。運営推進会議で出された利用者や家族の意見を尊重し反映しています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人内職員の異動は最小限にしています。一部職員の交代の際は利用者への影響を少なくするように、引継ぎ期間を設け経験者を配置するなど十分な配慮をしています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年2回の外部研修記録があります。また内部研修は年2回行った記録があります。法人内の研修は種々行われていますが、参加したという記録を残していません。	○	年6回以上の研修を行うこと、研修の記録を整理して職員間で共有することが求められます。認知症対応について、感染症対策、緊急時の対応、採用時研修を含む職員研修を充実するなど、職員の育成強化が望まれます。 当面、施設内研修の増加や他のホームと相互訪問学習などに着手すると良いのではないのでしょうか。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者連絡会は行われていません。ホームから同業者との交流会や研修会開催についての働きかけは行っていません。全国レベル、大阪府下対象のネットワークには加入していません。	○	地域の同業者や関連業者等との学習・交流の場を持つような取り組みが望まれます。全国レベル、大阪府下対象のネットワークへの加入が求められます。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前の見学や入居時の面接などには本人と家族と一緒に来られるように勧めています。利用者や家族が面接に来られたら、入居されている利用者に紹介をして馴染めるような雰囲気作りをしています。入居された直後は職員が配慮して、場所や雰囲気に馴染めるようにサポートをしています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は裁縫や調理の味付け、古くからのしきたりなどについて利用者に教えてもらうことが多くあります。また長寿の祝いや誕生会などの際に、それぞれの利用者に応じた手作りのケーキを用意して喜び合うなど、学び支えあう関係を大切にしています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常的な会話やふれあいの中で利用者の意向を聴取する、確認するなど希望を尊重するように努力をしています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントを行い利用者や家族の意見を反映した介護計画書を作成しています。モニタリング記録もあり、介護計画書には家族等の了承サインや押印があります。しかし、職員が介護計画書を共有しているというサインがありません。また、一部に外出を増やしてほしい、介護計画書の説明だけでなく積極的に意見を聞いて欲しいなどの声があります。	○	介護計画書は職員間で共有し、職員全員が目を通し確認したというサイン（押印）が求められます。カンファレンス記録は結論だけではなく、討論の内容を詳細に残すことが望まれます。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6ヶ月毎に定期的な見直しを行い、それ以外でも必要時には随時の見直しを行っています。また、必要な場合には本人や家族を交えた話し合いの場を設けています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	38	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	希望者には同法人運営のデイサービスへの参加を支援して、地域からの参加者との交流を進めています。同法人が医療系ということもあり、健康管理や医療連携を強化して利用者や家族の安心感を得ています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者がそれぞれの希望する、かかりつけ医療機関で、引き続き医療が受けられるように支援をしています。受診の際は家族が同伴されるようにしていますが、家族の都合が付かない場合や必要時には受診に付き添い適切な医療が受けられるように支援しています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者が重度化した場合や退居に当たっての条件を運営規定に明記し、家族の了解を得ています。重度化した場合や終末期の対応については、具体的な対象者が無かったため、細かい取り決めはしていません。しかし必要時には家族と主治医や看護師を交えた話し合いを行うなど、希望に添うような援助をする用意があります。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者の誇りやプライバシーを尊重した対応をするよう努めています。利用者の記録等の保管は厳重にしています。 同法人では個人情報保護に関する規定が定められており、ホーム職員採用時の契約書には個人情報保護を義務付ける文面があり、職員に主旨を徹底しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日をどのように過ごすかは利用者の希望で決まります。デイサービスに参加したり、買物に出かけたり、室内で過ごしたり、それぞれの思いが尊重されています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	朝夕はホーム職員が利用者とともに調理し、同じものを食べながら、服薬の介助など必要なサポートをしています。昼は法人内で調理された給食が運ばれ、利用者はそれぞれお茶の用意や箸をそろえるなど自分のできごと、したい役割を見つけ、毎日の日課として楽しみながら過ごされています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週に2回の入浴日を決めています。毎日の入浴を希望する利用者はありません。入浴時間は夕方に設定し、ゆったりと入浴できるように配慮しています。	○	利用者が週3回の入浴できるように、入浴日の設定が求められます。また、希望される場合には毎日でも入浴ができる支援が求められます。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	皆で外食、散歩や買い物、手芸や折り紙、観葉植物の世話、調理や洗濯物たたみ、リハビリ体操、学童と触れ合うなど楽しみごとは多くあり、利用者の希望に添った支援をしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	法人敷地内のハーブ園などの周辺散歩、同法人のデイサービスへの参加、買い物や外食に出かける、家族と外出するなど、利用者は最低週1回以上の外出をしています。運営推進会議の中で家族からは毎日外へ出られるように支援してほしいというような要望も出され、外出支援により一層力を入れています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中はホーム玄関には鍵をかけていません。利用者は自由に戸外へ出ることができます。戸外には法人の敷地が続き安全な環境が作られています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防防災避難訓練は法人全体として年1回、消防署の協力を得て行っています。それ以外にも自主避難訓練を行い、近隣の自治会には災害時の支援、協力依頼をしています。非常用食料品の備蓄は法人として行っており、ホーム独自の備蓄はしていません。	○	ホーム独自の災害対策として、食料品、飲み水の備蓄が求められます。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている	メニュー作成については同法人所属の管理栄 養士に相談しています。食事摂取量は3食と もに把握し、水分摂取量は一日を通して把握 し記録しています。また排泄回数との関係か ら水分不足を把握する視点も持っています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、 食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にと って不快な音や光がないように配慮し、 生活感や季節感を採り入れて、居 心地よく過ごせるような工夫をしてい る	食堂兼居間を中心にくつろぐ場所を設けてい ます。不快な音や光も無く、窓の外には庭や 田畑が広がり、季節感のあるホームです。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や 家族と相談しながら、使い慣れたもの や好みのものを活かして、本人が居心 地よく過ごせるような工夫をしている	居室は壁紙を違えたりして個性的な室内とな っています。それぞれが住みやすく、清潔感 のある居室環境が整えられています。利用者 は室内の空きスペースを活用して家族の写 真、自作の絵や作品、観葉植物などを飾って います。机やイス、タンス、衣装ケース、テ レビ、時計、ぬいぐるみ、ミニ祭壇、湯茶セ ットなど馴染みの家具を置いて過ごされてい ます。		